

# カンバタンゴ楽団2015

## Cambatango



燃えあがる熱い鼓動!!  
心震える哀愁! 情熱の愛のかたち!  
これこそが本場のアルゼンチンタンゴ!!

演奏/カンバタンゴ楽団

2015年 **11月29日(日)**

開演/15:00(開場14:30)

藤沢市民会館小ホール

〒251-0026 藤沢市鶴沼東8-1

全席指定/3,800円(税込) **8月27日(木)チケット発売開始**

※未就学児の入場はご遠慮ください。

### 【プレイガイド】

藤沢市民会館	0466-23-2415	川上書店 茅ヶ崎ラスカ店	0467-87-3826
湘南台文化センター	0466-45-1550	湘南リビング新聞社	0466-27-7411
茅ヶ崎市楽友協会	0467-82-3744	イープラス	<a href="http://eplus.jp/">http://eplus.jp/</a> (パソコン&ケータイ)

※発売日[8月27日(木)]の藤沢市民会館・湘南台文化センターの電話受付は11:00からとなります。

### Program

黄昏のオルガニート/カトゥーロ・カステイジョ  
Cátulo Castillo: Organito de la tarde

我が愛しのミロンガ/ペドロ・ラウレンス  
Pedro Laurenz: Milonga de mis amores

カミニート/ファン・デ・ディオス・フィリベルト(詞:ガビノ・コリア・ベニャロサ)  
Juan de Dios Filiberto (L: Gabino Coria Peñaloza): Caminito ★

ジューラジーラ/エンリケ・サントス・ディセポロ(曲・詞)  
Enrique Santos Discépolo (M&L): Yira Yira ★

エル・チョコロ/アンヘル・ビヨルド  
Ángel Villoldo: El choclo

ラ・クンパルシータ/ヘラルド・マトス・ロドリゲス  
Gerardo Matos Rodríguez: La Cumparsita

忘却/アストル・ピアソラ  
Astor Piazzolla: Oblivion

その他 ★ヴォーカルあり

主催:茅ヶ崎市楽友協会 0467-82-3744 <http://www.chigasaki-psc.org> 共催:(公財)藤沢市みらい創造財団 芸術文化事業課 0466-28-1135

後援:駐日アルゼンチン共和国大使館



Embajada de la República Argentina  
Ministerio de Relaciones Exteriores y Culto

後援:湘南リビング新聞社 0466-27-7411

# camBATANGO

カンバタンゴ楽団



2006年、二人のギタリスト、ルーカス・ステリン・ベンセルとアリエル・ロベス・サルディーバルによって結成。バンドネオンには、すでにブエノスアイレスで活躍していた平田耕治が参加。編成は、バンドネオン、コントラバス、ギター2本による四重奏。タンゴオーケストラと南米独特の音楽（フォルクローレ）の両面の要素を兼ね備え、タンゴ本来の魅力と現代感覚にあふれたその演奏は、高く評価されている。

2006年12月、ブエノスアイレス市文部省主催により開催された楽団初の演奏会には1200人の聴衆が集まった。2007年には人気楽団となり、サンテルモ地区の「バラ・クルトゥラル」「ラ・ビルータ」や、ブエノスアイレス市内で最も有名なミロンガ劇場（ダンスサロン）「サロン・カニング」、1912年に建てられた歴史あるミロンガ劇場「コンフェテリア・イデアル」、ピンカス・ズッカーマン（VI）等も出演した有名ホール「アミハイ講堂」で演奏。2007年、エルナン・ペロン監督のドキュメンタリー映画「私の人生におけるタンゴ」に出演。

2009年初来日。札幌コンサートホールKitara、東京芸術劇場、大阪シンフォニーホール、福岡シンフォニーホールなどで公演を行い、ツアー総動員数は1万人を超えた。その後、シンガポール、バンコクでも公演を行う。2010年、アルゼンチン政府公認の海外派遣グループ（年に1グループのみ）に選ばれ、ポルトガルのフェスタ・ド・アバンテ（動員15万人を超すフェスティバル）に参加。ポルトガルのほか、イタリア、スペインでもコンサートを開催。ヨーロッパツアーで成功を収め、アルゼンチン大統領官邸にも招かれた。2011年、日本ツアーに続き、カナダ、韓国ツアーも好評を博した。2013年に再来日、2014年9月2度目のアルゼンチン外務省の後援を受けニューヨーク公演。同年11月には、初の中国公演（「東アジア文化都市2014横浜」）。

現在、タンゴの本場アルゼンチンで最も注目されているグループである。



◆平田耕治／バンドネオン ◆Koji Hirata／Bandoneon

1983年生まれ、横浜市出身。逗子開成中学・高等学校卒業。洗足学園音楽大学・音楽音響デザインコース作曲専攻卒業。13歳でバンドネオンを始め、16歳で単身ブエノスアイレスに渡り、故カルロス・ラサリ宅に住み込みで師事。翌年からネストル・マルコーニ氏にも併せて師事。その後、日本では岡本昭氏、西塔祐三氏に薫陶を受ける。2005年、シンガポール（エスプラネードホール）にてソリストとして演奏。また、秋山和慶氏の指揮によりバンドネオンコンチェルト（洗足学園前田ホール）を演奏。2007年、ブエノスアイレス市立エスクラ・デ・タンゴのオーディションに合格、入団。ソウル・タンゴフェスティバルに参加。2008年、パリ（テアトロシャイユ）タンゴフェスティバルに参加。ブエノスアイレスにてタンゴショーレストラン「La Ventana」と専属契約。2010年、カンバタンゴがアルゼンチン外務省の全面支援のもと、共和国代表グループに選ばれるが、外国人が代表グループのメンバーというのは初めてのことであった。日本のみならず世界が注目している若手バンドネオン奏者。



◆アリエル・ロベス・サルディーバル／1stギター ◆Ariel López Saldívar／1st Guitar

アルゼンチン、ブエノスアイレス生まれ。7歳から父よりギターを学び、その後ファン・ホセカストロ音楽学校で世界的に有名なイルマ・コスタソに師事。これまでに、アルゼンチン、スペイン、パラグアイの数々のコンクールで優勝、入賞。現在はブエノスアイレスの大学院で教える傍ら、アルゼンチン国営ラジオ出演をはじめ、南米各国、アメリカ、シンガポール、フランス、イギリス、スペイン等の世界各国で演奏活動を行っている。



◆ルーカス・ステリン・ベンセル／2ndギター ◆Lucas Sterin Pensel／2nd Guitar

アルゼンチン、ブエノスアイレス生まれ。アベジャネータ音楽学校、国立ラ・プラタ音楽学校卒業。在学中より、アルゴ・ヴィデラ、パブロ・コバセビッチの各氏にタンゴを学ぶ他、ブラジル音楽、フォルクローレ、ポピュラー音楽、クラシック音楽など幅広く研鑽を積んでいる。演奏活動のほか、CD録音やアルバムリリースにも積極的に取り組んでいる。



◆エヴァ・フィオーリ／ヴォーカル ◆Eva Fiori／Vocal

アルゼンチン、ブエノスアイレス生まれ。Escuela de Música contemporáneaにて研鑽を積む。歌唱のほか、ピアノ、パーカッション、ギター、音声認知法などを学ぶ。近年タンゴ歌手として精力的に活動し、カンバタンゴをはじめ、数多くのコンサートに出演。2012年よりCamandulaje Tangoのメンバーとしても活躍。これまで自身のトリオやカルテットを結成し、ジャズ・コンサートに出演するほか、Coral de Almagro合唱団の一員としてルネッサンス音楽から20世紀音楽も歌う。様々なジャンルの曲を歌いこなす注目のヴォーカリスト。



◆葦科基輝／コントラバス ◆Motoki Warashina／Contrabass

国立音楽大学器楽学科コントラバス専攻卒業。ペトル・イウガ、ヤヌシュ・ヴィズィックの各氏のレッスンを受講。第10回「万里の長城杯」国際音楽コンクール弦楽器部門入選。現在はフリー奏者としてオーケストラ演奏や室内楽、ソロ、またタンゴなど幅広く、自主公演、楽器のレッスンなども、静岡県内に限らず東京・神奈川などでも活動している。マリンバとのデュオ「curious」メンバー。平田耕治タンゴカルテットでも活躍。国立音楽大学嘱託演奏員。富士ジュニアオーケストラ講師。コントラバスを山西貴久、池松宏、吉田秀の各氏に師事。